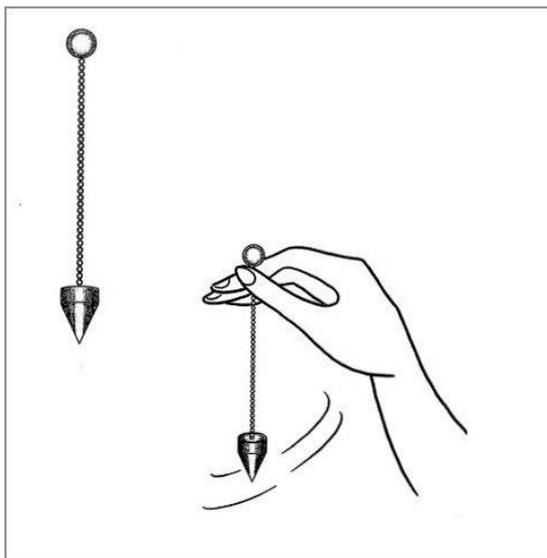
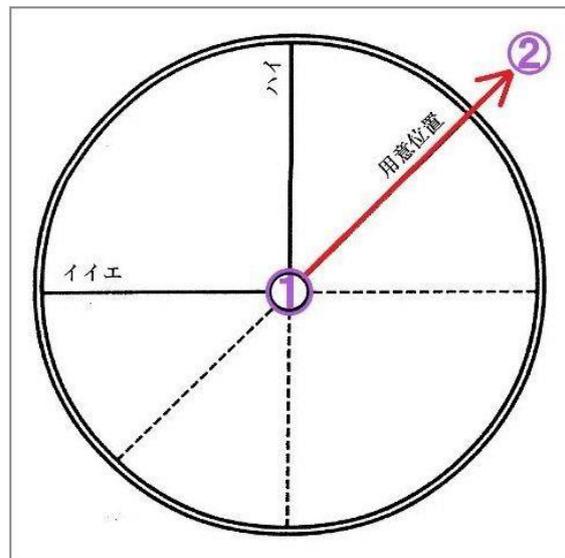


振り子（ペンデュラム）の使用方法

- a. 振り子は深く悩まずに手頃な値段のものを購入し、ホワイトセージを焚いて浄化する。
- b. 振り子の準備ができたなら、別ファイル【振り子の質問チャート】をA4用紙に画像が全て入るように調整して印刷し、点線に沿って切り取る。（A5サイズが2枚できる）
- c. 出来上がった【振り子の質問チャート】の1枚を目の前に置く。
- d. ここから自分の質問に対し、振り子が「はい」の場合、「いいえ」の場合、どのような動き方をするか確かめる作業を行う。
- e. 100%正しい質問（例えば「地球は丸いです」「私は人間です」と、100%間違っている質問（例えば「地球は三角です」「私は猫です」）を用意する。
- f. 別ファイル【確実なグラウンディングの方法】を1~4まで順番通り行う。
- g. 【振り子の持ち方】を参照して、e.の質問をしてから開始する。



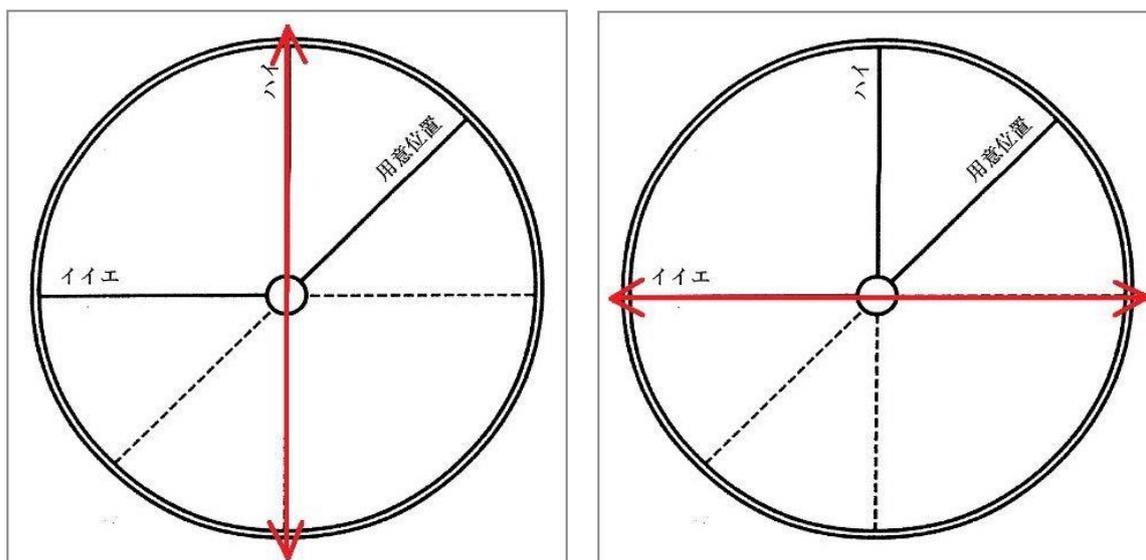
【振り子の持ち方】



【振り子のスタート位置と振り方】

【振り子のスタート位置と振り方】を参照して、振り子の先端が ① を指すように構え、スタートするときは、振り子を持った手を ② に向かって一度だけ、手首のみを動かすように振ってから、手首をすぐスタート位置に戻し、その後は自分では一切の力を加えず、終始、腕は動かさず脇を締めている状態で振り子に動きを任せる。

- h. いくつか質問を繰り返し「はい」と「いいえ」の動きが明らかに違うと認識できたらハイヤーセルフに「どうか振り子の“はい（いいえ）”の位置を教えてください」と語りかけてから、g. の通り振り子が動くように振る。
「はい」と「いいえ」の最終的な位置は以下を参照する。



【「はい」の最終的に振り子が振れる位置】 【「いいえ」の最終的に振り子が振れる位置】

- i. 「はい」と「いいえ」の位置が認識できない場合は、f. に戻って繰り返す。
- j. 「はい」と「いいえ」の位置が認識できてからも振り子の動きを自然に任せていると右回り（時計の方向）、左回り（時計と逆の方向）に振り子が回り始める場合がある。そして、その後、再び「はい」と「いいえ」の位置で揺れ続ける場合もある。

右回りは「はい」、左回りは「いいえ」。

k. 「はい」と「いいえ」の位置と振り子の動きが理解できたら、しっかりと f. をしてハイヤーセルフに尋ねたい質問をする。

振り子が円を描いて回り始めた場合、その円の大きさにも注意して、

円が大きければ「大いなる はい」、円が小さければ「普通の はい」等と決めて記録する。

手書きのノートやPCの文書作成ソフトなど自分が使いやすいもので記録帳を作り、

年月日・自分が問いかけた質問・振り子の様子・聞こえてきた声などを記録する。

振り子の様子は自分だけがわかる記号を決めて記入すると手間が省ける。

l. レイキ履修者の方は、

レイキの大光明 第四のシンボルを1回描き、マントラを3回唱え、

手のひらで受けとめたシンボルを（水をかぶるように）自分の頭にかぶせる。

レイキ履修者以外の方は、一礼する。

「魂の保護バリア オーラ・ヒーリング—自分のエネルギー・フィールドを清め、強化しよう」

スーザン シュムスキー（著）、Susan G. Shumsky（原著）、小林 淳子（翻訳） 徳間書店より

画像を抜粋（赤色・紫色の部分は当方で追加）